幸手市の 妊娠 出産 子育て



問合せ　こども家庭センター☎(42)8457

すべての妊婦・子育て世代が安心して出産・子育てができるよう、相談窓口サービス、経済的支援を行っています。ご相談などありましたらお気軽に電話または窓口でご相談ください。

妊娠初期　妊娠届出面談　予約制　電話、子育てアプリから



■母子健康手帳、妊産婦健康診査助成券の交付
■家庭の事情、ママの体調などに合わせ、「あなただけの妊娠プラン」を助産師などが一緒にプランニング
■妊娠してから利用できる制度の案内、これからの妊娠経過に必要な知識、情報を紹介
■双胎児妊婦に対し助成

妊娠届出面談後
・妊婦のための支援給付金（1回目）5万円！
・葉酸サプリプレゼント

予約はこちらから！
「さっちゃん子育て応援ナビ」
＜主な機能＞
■地域の子育て情報
■予防接種スケジュール
■お子さんの成長記録など

iOS用　android用



妊娠後期　8か月訪問　予約制　電話、窓口、子育てアプリから



■助産師などがお宅に訪問。出産、子育てについて具体的にお話しします。
■産後の子育てをイメージし、家族の役割分担を設計
■産後に受けられる市のサービス、手続きの案内

パパママ教室　予約制
～赤ちゃんを迎える準備をしませんか～
■地域の専門家の話が聞ける
■プレママとつながれる
■無料で歯科検診が受けられる





出　産　生まれてきてからの手続き



■出生届提出
■児童手当、子ども医療費の手続き

出生届出手続き時
乳児紙おむつ用ごみ袋プレゼント

産後ケア事業
■医療機関や自宅で助産師などのサポートが受けられます。
・ショートステイ型（医療機関への宿泊）
・デイサービス型（医療機関への日帰り）
・訪問型（自宅に助産師が訪問）

HP 詳細はこちら!

乳幼児健康相談　予約制
■保健師などの専門職による身体計測、育児相談、栄養相談を行っています。

助産師のおうち　予約制
子育てについての悩みを助産師に相談できます。イベント（ベビーマッサージ、親子遊びなど）も開催しています。

たまごくらす（妊婦さんとその家族）	隔月　土曜日
ぴよぴよくらす（2～5か月児）	毎月第4金曜日
こっこくらす（6～7か月児）	隔月第1金曜日

詳細は市ホームページをご覧ください。

HP 詳細はこちら!

出 産 後　こんにちは赤ちゃん訪問



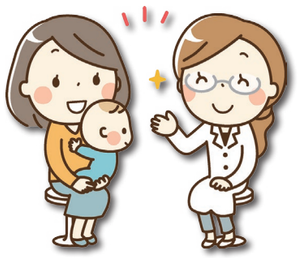
■出産した人全員のお宅に助産師などが訪問
ママの体調の確認や、赤ちゃんの身体測定、育児相談をします。

こんにちは赤ちゃん訪問後
妊婦のための支援給付金
（2回目）5万円！

育児についての相談　家庭児童相談員☎(43)2447

子育ての手助けに関する相談
■一時保育
ホームページをご確認の上、各園に直接お問い合わせください。
詳細はこちら
■ファミリー・サポート・センター
☎(42)8461
■病児保育室とん ことり
☎(32)5687
詳細はこちら

乳幼児健康診査　年齢ごとに受診



幸手市では下記の年齢時に健康診査を無料で行っています。
対象児には通知を郵送しますので、日程を確認し、忘れずに受診しましょう。

4か月～6か月	問診、身体計測、診察、育児相談、離乳食のお話など
10か月	問診、身体計測、診察、育児相談、離乳食のお話など
1歳6か月	問診、身体計測、診察、歯科健診、むし歯予防のお話、心理相談、育児相談、栄養相談など
3歳5か月	問診、尿検査、眼科屈折検査、身体計測、診察、歯科健診、むし歯予防のお話、視力・聴力検査（自宅で実施）、心理相談、育児相談、栄養相談など
5歳	問診、身体計測、遊びの教室、診察、育児相談など

11月は 乳幼児突然死症候群（SIDS）対策強化月間

問合せ　こども家庭センター☎(42)8457

こども家庭庁では、12月以降の冬期に発症しやすい傾向があることから毎年11月を乳幼児突然死症候群（SIDS）の対策強化月間と定め、SIDSに対する社会的関心を喚起するため、発症率を低くするポイントなどの重点的な普及啓発活動を実施しています。

■SIDSとは―

それまで大きな異常の兆しがないのに、乳幼児が睡眠中に亡くなってしまう原因不明の病気で、窒息などの事故とは異なるもの。生後2か月から6か月に多く、まれに1歳以上でも発症することがある。令和6年には55人の乳幼児がSIDSで亡くなり、乳児期の死亡原因の第3位となっている。

■SIDS予防の3つのポイント

①1歳になるまでは「あおむけ」に寝かせる
SIDSはうつぶせ、あおむけ、どちらの体勢でも起こっていますが、あおむけに寝かせたほうが発症率は低くなります。また、下記のように睡眠環境を整えることで、SIDSとは異なる窒息事故も防ぐことができます。
・赤ちゃんが寝るマットレスなどは柔らかすぎないものにする
・枕やぬいぐるみを置かない
・掛け布団を使用せず服装で温度調整する

②できるだけ母乳で育てる
母乳で育てられている赤ちゃんのほうが、SIDSの発症率は低くなります。無理のない範囲で母乳育児にトライしてみましょう。

③たばこをやめる
乳幼児の周囲で誰かがたばこを吸うと、SIDSの発症率が高くなります。SIDS以外にも、妊娠中の喫煙には①早産や低出生体重、②赤ちゃんの発育・発達の遅れ、③胎盤早期剝離など出産時のトラブルを引き起こすリスクがあります。

これらのことはいずれもSIDSの直接の原因ではありません。子育てに関し必要以上に不安を抱くことは避けましょう。3つのポイントを参考に、日頃の子育てを再確認していただき、あとはおおらかな気持ちで子育てをしましょう。何かあればいつでもご連絡ください。